

Hiltonアンプと第三世代YAKスピーカーのレポート

2013. 5. 21 伊藤達彦

5月19日(日)の千葉県「稔台サークル(松戸市森のホール)」のアニバーサリーにて、SD用音響機材に関する様々な情報がわかってきましたので、レポートとしてまとめてみました。

アンプ等機材に関する情報は、タック尾崎氏(以下、タックとさせていただきます)からのものです。さらには、このレポートは、実際にパーティー等で使用した「コーラーとしての伊藤のフィーリング(数値的な裏打ちではありません。)」ですので、ご了承ください。

1. ヒルトンアンプは、現在、MA-220型のみ製造と販売となりました。

(部品が入手できないためようです。すでにMA-150型はありません。)

2. MA-150型とMA-220型は、大きさや型が似ていますが、どのように違うのでしょうか？

- (1) **タックの情報では**→MA-150型は、「いわゆるアナログアンプ」
MA-220型は、「デジタルアンプ」となっている。

MODEL MA-220 PRICE: \$1,420.00



- (2) 伊藤の使用感と220型の弱点？を見た実感では.....
- ・ヒルトンのホームページ上の仕様では、「50%パワーアップ！」となっているが、あまりそのパワーは感じられなかった。すでに購入して使っているコーラーの情報でも、「150型と比較しても、使いにくい？」ようです。
(今後、情報を集めたいと思いますが、伊藤は所有していません。)
 - ・稔台アニバでは、地下のベーシック会場におよそ12セット以上もダンサーが集まり、そこでのアンプが、最新の「MA-220型」でした。スピーカーが、第三世代のハーフYAKを、タックに改造していただいたばかりの物を使用。
(当日は伊藤がゲストのため、メインホールからあわてて？地下ホールへ降り、プログラムの時間が迫っていて、いきなりコールを始めたので、機材チェックがしっかりとできていない中での使用でした。)
 - ・いつもの旧型のハーフYAKならば、何とかあったのかもしれない？と言うようなパワー不足を感じた。(これまでの森のホールでの状況と比較しての実感から)
 - ・結果、次のようなトラブルが起こった。
旧型のハーフYAKの出力効率を「1」(伊藤のフィーリング)とすると、

第三世代の物は効率が「1/3」程度、

第三世代をタックに改造してもらったばかりのスピーカーでは、「1/2」程度の出力と思われた。(無理に改造をお願いしたものですのに、ごめんなさい。)

そこで、スピーカーもパワー不足を感じ、アンプ側も無理矢理にボリュームを最大まで「音楽とマイク」共に上げて使うしかなかった。結果、デジタルアンプとなった「MA-220型」は、オーバー入力を感じ、突然に「一時的にダウン」し、音が出なくなったようでした。6秒ほどで戻ったが・・・。アナログアンプでは、こうした無理？な使い方でも、これまでは、このような現象は見られないと感じたのです。

SDでは、コールの際に、結構、いきなり大きな声を出したり、音楽の音量を上げたりすることがありますね。

(オーバーロード時のトラブル報告ととらえておいてください。)

- ・デジタルアンプは、軽くてパワーがあるとのことですが、SD用でのハード？な使い方では、限界があるのでしょうか。

3. 第三世代のYAKスピーカーは？

- (1) 製作者のパロミノレコード(ハンハースト)社の社長でもあった「故・トムディランダー氏」が、この2月に自宅ボイラー修理中に事故で亡くなったばかりです。このスピーカーの行方？も不明ですが、今後のSD用音響機材の行方もさらに課題となってきました。



HALF YAK STACK

※西宮SDCのコーラーの玉田 厚氏が、現在、SD・RD用専用スピーカーを数機種開発中です。(期待しててください。)

玉田 厚さんの電子メール アドレス：

01tamada@gmail.com



- (2) 「第三世代のYAKスピーカー情報」は、SD協会のホームページの「耳より情報コーナー」の伊藤のレポートを参照してください。

(2010年1月29日付け：耳より情報コーナーに掲載済み)

(3) ハーフYAKスピーカーでは、**楕円形のスピーカー**（以下、S P. と表記）を**3個縦に入れてあります**。しかし、すでに現在、効率の良い「楕円形」のスピーカーが入手できない状況のため、これに代わる物が無いそうです。

（伊藤がタックに無理にお願いし、楕円形ではない丸形のS P. を取り付け、改造してもらった次第です。受け渡しが「森のホール」だったので、まだ、実際に使ったことがありませんでした。このパーティーで初めて……。

（今後、上記3機種のS P. の実機での比較と検討をしてみます。）

※スピーカーの形状のイメージ写真です。(実際の物と異なります。)



楕円形



丸形

4. 以前の「DIRECTOR(ディレクター)」スピーカーをお持ちの方へ!



YAK Stackの「すでに製造と販売が終わっている」この黒い型の DIRECTOR スピーカーをお持ちの方（または、クラブなど）は、ご注意ください。

数年前にお邪魔したクラブの前日祭で気がつきました。低音も効かない、ひどい音だったのです。後日、主催者側がこのS P. の中を開けて点検をしたところ、

スピーカーコーン部分が劣化して、「ポロポロ!」だったそうです。

点検してみてください。

不要の Director スピーカーボックス「ケース」がありましたら、ご連絡ください。

（玉田さんが、スピーカーのコーン部分の取り替え（換装）にトライしてみるそうです。）

連絡先: tachan@remus.dti.ne.jp 伊藤 達彦

5. 追加情報「ヒルトンアンブ用マイクケーブル」

上記のS P. 情報にある「玉田 厚（あつし）」さんが製作したマイクケーブルが好評です。興味のある方は、どうぞ。



「エレクトロボイス」などのマイクは、成田市の**サウンドハウス**で購入できますよ。

<http://www.soundhouse.co.jp/>

16,000円（送料等別途）

